

## 特別展 「大江戸の華 —武家の儀礼と商家の祭—」

東京江戸東京博物館（両国） 2021.07.10～09.20

「大江戸」という言葉は、18世紀初頭推定で100万人もの人口を擁する世界有数の大都市であった江戸の活発で明るい印象を想起させるものである。

本展では、江戸の武家や商家の儀礼や祭りなどの年中行事を取り上げて、江戸の人々の暮らしや人生における“ハレ”の場面や舞台を描いている。

展示されている作品は、当館が所蔵している選りすぐりのコレクションに加えて、国内各所から優品を集めるとともに、イギリスとアメリカから二領の「鎧」が里帰りして、江戸に生きた人々の明日への活力を伝えてくれる。

### 第1章 式正（しきしょう）—武器と儀礼—

甲冑や刀剣、乗り物など将軍・大名の所用品を展示している。武具は江戸時代以前には武器であったが、泰平の世の中にあっては、贈答や装飾などに活用されて、武家の権威を表現する道具となった。



### 第2章 年中行事 —お稲荷さまと雛祭り—

### 第3章 憧憬（どうけい）—彩りの道具と装い—



初午の祭りを彩る「四神旗」

将軍の娘が乗った梨子地の乗物